
社会福祉法人山口県共同募金会

<団体概要>

・沿革

- 昭和22年10月6日 山口県共同募金委員会発足
(委員長：山口県知事 田中龍夫)
- 昭和22年11月25日
～12月25日 第1回共同募金運動実施
- 昭和27年5月10日 社会福祉法人山口県共同募金会設立認可
- 昭和27年5月29日 社会福祉法人山口県共同募金会設立登記

・設立目的

たすけあいの精神を基調として、山口県における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図るために、共同募金事業を行うことを目的とする。

・活動内容

共同募金の目標額、受配者の範囲及び配分の方法を決定し、募金を実施するとともに、地域福祉の課題解決に取り組む県内の民間団体からの申請に基づき、公平かつ効果的な配分を行う。また、大規模災害の発生に備え、災害等準備金を積み立て、災害ボランティアセンターの運営等を支援するほか、共同募金に関する広報活動、配分使途の監査等を行う。

<重点事業・重点目標>

1 共感できる募金の推進

市町共同募金委員会との連携の下、地域の解決すべき福祉課題や県域における支援ニーズ等、募金の目的を明確に示した上で、戸別募金や法人募金、職域募金等の推進を図るとともに、「赤い羽根テーマ募金」や「UMOUプロジェクトin山口」などの新たな募金手法の充実強化に引き続き取り組むほか、キャッシュレス募金の導入等募金手法の多様化に積極的に取り組みます。

- ・ 県域助成団体等への情報提供によるテーマ募金新規取組団体の開拓
- ・ 羽毛製品の回収強化に向け、市町共同募金委員会と連携した行政等への働きかけ
- ・ 新しいガチャガチャグッズの作成・活用
- ・ QRコード決済による募金の利用促進
- ・ SNSを活用した広報手法の研修実施と実践展開
- ・ 全国の共同募金会と連携した「重点助成分野」による活動のPR

2 地域ニーズを反映した助成の確立

地域課題を解決するための活動に助成できるよう、ニーズを的確に把握するとともに、地域に具体的な良い変化が期待できるような助成を行いま

す。また、助成した活動の内容や成果が寄付者にしっかり伝わるよう可視化を図るなど、効果的な広報に努めます。

- ・取組の促進が特に必要とされる課題に重点的に助成を行う「特別助成プログラム」の拡充
- ・地域住民のニーズに即した助成プログラムの開発を行う「赤い羽根 住民の「解決したい！」を応援するプロジェクト」（中央共同募金会モデル事業）の実施
- ・全国の共同募金会の連携を図る共通助成テーマの検討
- ・県域助成団体の活動状況や助成金の使途等に係る実地調査の実施

3 参加と協働による組織運営の確立

共同募金運動の一層の推進に向けては、地域課題への的確な対応が重要であり、地域福祉を推進する県社会福祉協議会及び市町共同募金委員会事務局を担う市町社会福祉協議会との連携・支援を強化します。また、自治会、民生委員児童委員協議会をはじめ、様々な関係団体と協働して、共同募金運動の活性化を図ります。

- ・第7次福祉の輪づくり運動推進県域活動計画を推進するための「特別助成プログラム」の実施
- ・地域助成財源の確保（原則として一般募金額の6割以上）
- ・市町共同募金委員会と連携した「特別助成プログラム」や「住民の「解決したい！」を応援するプロジェクト」の実施

4 県共同募金会の運営

本県における共同募金運動を一層推進するため、本会の円滑かつ効果的な運営に努めます。また、6月に役員及び評議員の任期が満了することから、新たな役員及び評議員の選任に向けた手続きを行います。

- ・職員の資質向上に向けた研修等への積極的な参加
- ・助成申請のオンライン化による事務の効率化